

目 次

第2版はしがき

初版はしがき

Lesson 1 民事訴訟(民事裁判)の基本構造 ————— 1

- I 民法と民事訴訟法の関係 1
考えるべき課題 (1) / 実体法適用のプロセス (1)
- II 民事訴訟の構造 3

Lesson 2 訴訟の開始 ————— 5

- I 訴えの定義 5
訴えとは (5) / 事例の説明 (5)
- II 「訴えなければ裁判なし」の原則 5
- III 訴えの種類 6
訴えの3類型 (6) / 給付の訴え (6) / 確認の訴え (7) /
形成の訴え (8) / 形成の訴えと確認の訴えとの区別 (9)
- IV 訴え提起の方法 11
訴状の作成と提出 (11) / 訴状審査 (12) / 訴状の送達 (13)
訴状における住所、氏名の秘匿 (13) /
- V 民事訴訟のIT化とオンラインによる訴え提起 14
オンラインによる訴え提起 (14) / オンライン利用の義務付け (14) /
民事訴訟のIT化 (14)
■ サンプル 訴 状・答弁書

Lesson 3 訴え提起の効果 ————— 18

- I 基本的な効果 18
訴訟行為としての訴え (18) / 訴訟係属 (18)
- II 裁判上の請求による時効の完成猶予 18
消滅時効の完成 (19) / 時効の完成猶予 (19)
- III 二重起訴の禁止 21

趣旨 (21) / 要件 (21) / 効果 (22)

Lesson 4 裁判所と管轄 23

I 管轄 23

管轄とは (23) / 職分管轄 (23) / 事物管轄 (24) / 土地管轄 (24)

II 管轄の合意 27

趣旨 (27) / 管轄の合意の要件 (28) / 管轄の合意の効果 (29)

III 移送 29

定義 (29) / 管轄違いの場合の移送 (30) / 裁量移送 (30) /
管轄ルール of 弾力化 (31)

Lesson 5 当事者 1 33

I 形式的当事者概念 33

II 当事者権の保障と手続の中断 33

手続の中断・受継 (33) / 訴訟が終了する場合 (34)

III 当事者の確定 35

問題となる場面 (35) / 考え方 (36) / 事例の解決 (37) /
訴状の当事者欄の訂正と任意的当事者変更 (38)

Lesson 6 当事者 2 40

I 当事者能力 40

当事者能力 (40) / 権利能力のない社団の当事者能力 (40)

II 訴訟能力・法定代理 41

訴訟能力 (41) / 訴訟能力が制限される場合 (42)

III 訴訟代理 44

訴訟委任による訴訟代理 (44) / 法令による訴訟代理人 (45) /
補佐人 (45)

Lesson 7 訴訟物・訴訟上の請求 47

I 訴訟物概念 47

定義 (47) / 訴訟物概念の役割 (47) / 訴えの定義と訴訟物 (47)

II 給付訴訟の訴訟物 48

請求権競合 (48) / 請求権競合があるときの訴訟物 (49) /

- 請求権競合がないときの訴訟物 (49)
- Ⅲ 確認訴訟・形成訴訟の訴訟物 50
確認訴訟の訴訟物 (50) / 形成訴訟の訴訟物 (51)
- Ⅳ 訴訟物論争 51
訴訟物論争とは (51) / 各説の適用結果 (52) / まとめ (53)

Lesson 8 訴訟要件 1 ————— 54

- I 訴訟要件 54
定義 (54) / 種類 (54) / 訴訟要件の調査 (55)
- II 訴えの利益 57
定義 (57) / 現在給付の訴え (58) / 将来給付の訴え (58) /
確認の訴え (61) / 形成の訴え (66)

Lesson 9 訴訟要件 2 ————— 68

- I 当事者適格 68
当事者適格とは (68) / 給付訴訟の当事者適格 (68) /
確認訴訟の当事者適格 (69) / 形成訴訟の当事者適格 (69)
- II 第三者の訴訟担当 70
第三者の訴訟担当 (70) / 法定訴訟担当 (70) / 任意的訴訟担当 (72)

Lesson 10 民事訴訟の審理における裁判所と当事者の役割分担 — 78

- I 職権主義と当事者主義 78
- II 職権進行主義 78
趣旨 (78) / 内容 (79) / 職権進行主義と当事者の関係 (79)
- III 弁論主義 80
弁論主義 (80) / 事例の解決 (81)

Lesson 11 口頭弁論 ————— 82

- I 基本事項の整理 82
口頭弁論とは (82) / 当事者の主張 (82)
- II 必要的口頭弁論の原則 83
- III 口頭主義、直接主義、公開主義 84

- 口頭主義 (84) / 直接主義 (85) / 公開主義 (86)
- IV 当事者の欠席と手続の進め方 87
規制の必要性 (87) / 当事者の出席を要しない場合 (87) /
最初にすべき口頭弁論期日の欠席 (88) /
最初にすべき口頭弁論期日で欠席した被告が争わない場合 (89) /
その後の口頭弁論期日の欠席 (91) / 訴え取下げの擬制 (92)
- V ウェブによる口頭弁論への参加 92

Lesson 12 弁論主義 93

- I 定義 93
- II 弁論主義の3原則 93
3つの原則 (93) / 弁論主義の第1原則 (94) /
弁論主義の第2原則 (95) / 弁論主義の第3原則 (96)
- III 第1原則の適用対象 97
主要事実、間接事実、補助事実 (97) /
第1原則は「主要事実」のみに適用される (98)
- IV 裁判所の釈明権・釈明義務 99
定義 (99) / 積極的釈明と消極的釈明 (100) / 釈明義務 (100)
- V 弁論主義の合理性 101

Lesson 13 審理の充実と訴訟促進のための手段 103

- I 審理の充実、促進の必要性 103
- II 適時提出主義 104
攻撃防御方法 (104) /
口頭弁論の一体性と随時提出主義・適時提出主義 (105) /
時機に後れた攻撃防御方法の却下 (105)
- III 書面による弁論の準備 106
書面主義による口頭主義の補充 (106) / 準備書面 (106)
- IV 争点及び証拠の整理手続 107
手続の目的 (107) / 種類と特徴 (107) / 手続の担当主体 (108) /
要証明事実の確認 (108) / 結果陳述 (109) /
争点整理手続が終わった後の攻撃防御方法提出に対する規制 (109)

- V 計画審理 110
- VI 専門委員 111
- VII 当事者照会 111

Lesson 14 証明と証拠 113

- I 証明とは何か 113
証明の必要性 (113) / 証明と疎明の区別 (113) /
厳格な証明と自由な証明 (113) / 証明の構造 (114)
- II 証明に至るプロセスと自由心証主義 114
自由心証主義 (114) / 証拠能力 (116) / 証拠力の自由評価 (117)
- III 自由心証主義と証明度 118
経験則に基づく事実認定 (118) / 民事訴訟の証明度 (118) /
科学的な問題と証明 (119)
- IV 証明の対象 120
争いがない事実と争いがある事実の区別 (120) /
裁判所に顕著な事実 (120) / 経験則 (120)
- V 裁判上の自白 121
定義 (121) / 自白の持つ訴訟法上の意味 (121) /
裁判上の自白の要件 (122) / 自白の撤回が許される場合 (126) /
擬制自白 (127)

Lesson 15 証明責任 129

- I 証明責任 129
証明責任 (客観的証明責任) (129) / 弁論主義と証明責任 (130)
- II 証明責任の分配 130
証明責任は当事者の双方に分配される (131) /
分配の基準 (131) / 事例の解決 (133)
- III 証明責任の転換・法律上の推定 133
証明責任の転換 (133) / 法律上の推定 (134)
- IV 事実上の推定 136
事実上の推定 (136) / 表見証明 (136)

Lesson 16 証拠調べ 1 138

- I 総論 138
証拠方法と証拠調べの種類 (138) / 証拠調べの手続 (138)
- II 証人尋問 139
定義 (139) / 証人能力 (140) / 証人の義務 (140) / 証人尋問の方式 (141)
- III 当事者尋問 142
定義 (142) / 当事者尋問と証人尋問の異同 (143) /
当事者尋問の補充性 (143)
- IV 書証 143
定義 (143) / 文書の種類 (144) /
文書成立の真正 (形式的証拠力) と実質的証拠力 (145) / 書証の手続 (146)

Lesson 17 証拠調べ 2 148

- I 文書提出命令 148
文書提出命令 (148) / 提出までの手続 (148) /
220条1号から3号までの文書 (149) / 220条4号が定める文書 (150) /
文書提出命令に従わない場合の対応策 (154)
- II 鑑定 155
定義 (155) / 鑑定人の地位 (156) / 証拠調べの実施 (156)
- III 検証 157
定義 (157) / 検証協力義務 (157)
- IV 証拠保全 157
定義 (157) / 証拠保全の申立ての事由 (157) /
証拠保全の証拠開示的運用 (158)

Lesson 18 口頭弁論における当事者の訴訟行為 160

- I Step 1: 原告の申立て 160
訴訟物の確定 (160) / 請求原因事実の確定 (160) /
請求原因事実の具体化 (161) / 請求原因という用語の使い方 (161)
- II Step 2: 被告の応答 162
請求の趣旨に対する被告の応答 (答弁) (162) /
請求原因事実の主張に対する被告の応答 (162) / 単純否認と積極否認 (163) /

- 否認と抗弁 (163) / 制限付自白と予備的抗弁 (164)
- III Step 3: 原告の応答 165
抗弁事実の否認 (166) / 再抗弁 (166)
- IV まとめ 166

Lesson 19 判決以外の訴訟終了原因 168

- I 概説 168
処分権主義 (168) / 訴訟の終了についての当事者意思の尊重 (168) / 効果のちがひ (168)
- II 訴えの取下げ 169
定義 (169) / 要件 (169) / 効果 (170) / 訴えの取下げの合意 (171) / 訴えの取下げと意思表示の瑕疵 (172)
- III 訴訟上の和解 173
定義 (173) / 要件 (174) / 手続 (175) / 特別な訴訟上の和解 (175) / 効果 (176) / 訴訟上の和解の無効・取消し (177) / 和解の解除 (178)
- IV 請求の放棄・認諾 179
定義 (179) / 要件 (179) / 手続 (180) / 効果 (180)

Lesson 20 裁判と判決 182

- I 裁判の種類 182
判決・決定・命令 (182) / 終局判決と中間判決 (183)
- II 判決の構造 185
判決に至る過程 (185) / 電子判決書の方式 (185) / 調書判決 (186)
■ サンプル 判決書
- III 判決の効力 186
判決の自己拘束力 (186) / 形式的確定力 (186) / 確定判決の効力 (188)
- IV 申立事項と判決事項 189
民事訴訟法246条 (189) / 当事者の申立て (189) / 数量的な一部認容判決 (190) / 質的な一部認容判決 (190) / 現在給付と将来給付 (192) / 債務不存在確認訴訟 (192) / 人身損害賠償請求訴訟 (193) / 246条違反の効果 (194)

Lesson 21 既判力 1 —既判力の客観的範囲— 195

- I 既判力とは 195
定義 (195) / 既判力に関する 4 原則 (195)
- II 原則 1 : 主文と既判力との対応関係 195
検討の順序 (196) / 同一問題 (同一訴訟物に基づく訴えの繰り返し) (197) /
先決関係 (198) / 矛盾関係 (199)
- III 原則 2 : 既判力には基準時がある 200
既判力の基準時 (200) / 事例の検討 (201)
- IV 原則 3 : 既判力は判決理由中の判断には生じない 202
原則 (202) / 例外: 相殺の抗弁 (203)
- V 形成力と既判力 206
- VI 既判力の正当化根拠 207

Lesson 22 既判力 2 —既判力の主観的範囲— 209

- I 原則 209
既判力の主観的範囲 (209) / 当事者のみに及ぶ原則 (209)
- II 訴訟担当の場合の被担当者 211
第三者の訴訟担当と既判力の拡張 (211) / 既判力拡張の根拠 (211) /
債権者代位訴訟 (212)
- III 口頭弁論終了後の承継人 213
承継人の定義 (213) / 既判力拡張の根拠 (214) /
承継人に対する既判力の作用 (215)
- IV 請求の目的物の所持者 216
請求の目的物の所持者 (216) / 既判力拡張の根拠 (217)
- V 団体関係訴訟・人事訴訟における判決効の拡張 218
団体関係訴訟 (218) / 人事訴訟 (218)

Lesson 23 一部請求と既判力、信義則による主張の遮断 — 220

- I 一部請求とは 220
一部請求の適法性 (220) / 何が問題か (220)
- II 明示がある場合と明示がない場合の区別 221

- 明示がある場合 (221) / 明示がない場合 (222)
- III 明示がある一部請求の棄却判決と残部請求 222
 考え方 (222) / 事例23 - 4 の解決 (223)
- IV 信義則による主張の遮断 223
 何が問題か (224) / 信義則による主張の遮断 (225)

Lesson 24 判決効に関する論点 227

- I 基準時後の形成権行使 227
 既判力の基準時 (227) / 基準時後の取消権の行使 (事例24 - 1(1)) (227) /
 基準時後の相殺権の行使 (228)
- II 反射効 229
 何が問題か (229) / 反射効とは (230) / 反射効は認められるか (231)

Lesson 25 複数請求 233

- I 複数請求 233
 定義 (233) / 2つの区別 (233)
- II 請求の客観的併合 233
 客観的併合 (233) / 要件 (234) / 請求の単純併合 (234) /
 請求の予備的併合 (235) / 請求の選択的併合 (236)
- III 訴えの変更 237
 訴えの変更とは (237) / 要件 (238) / 手続 (240) /
 請求の減縮と拡張 (241)
- IV 反訴 242
 反訴とは (242) / 要件 (242) / 要件を欠く反訴の扱い (244) /
 口頭弁論の分離 (244)
- V 中間確認の訴え 244
 中間確認の訴え (245) / 要件 (245)
- VI 口頭弁論の併合 246
 定義 (246) / 併合前の資料の併合後の扱い方 (246)

Lesson 26 共同訴訟 1 248

- I 共同訴訟 248
 定義 (248) / 共同訴訟の3類型 (248)

- II 通常共同訴訟 248
意義 (248) / 要件 (249)
- III 通常共同訴訟の審判方式 249
共同訴訟人独立の原則 (249) / 共同訴訟人間の証拠共通 (250)
- IV 必要的共同訴訟 251
2つの必要的共同訴訟 (251) / 固有必要的共同訴訟 (252) /
類似必要的共同訴訟 (253)
- V 必要的共同訴訟の審判方式 253
合一確定の方法 (253) / 有利な行為と不利な行為 (253) /
共同訴訟人の1人に対する相手方がした訴訟行為 (254) /
中断、中止 (254) / 弁論の分離 (255) / 裁判所の訴訟行為 (255)

Lesson 27 共同訴訟 2 _____ 256

- I 共同所有関係と訴訟共同の必要 256
総論 (256) / 総有 (入会権) (257) / 共有 (258)
- II 同時審判の申出がある共同訴訟 259
意義 (259) / 要件 (260) / 効果 (261)
- III 主観的追加的併合 261
定義 (261) / 条文がない主観的追加的併合 (261) /
固有必要的共同訴訟の補正 (262)

Lesson 28 訴訟参加・訴訟承継 _____ 264

- I 補助参加 264
補助参加とは (264) / 補助参加の手続 (264) / 補助参加の利益 (265) /
補助参加人の訴訟上の地位 (268) / 参加的効力 (269)
- II 訴訟告知 270
訴訟告知とは (271) / 要件 (271) / 訴訟告知の効果 (271)
- III 独立当事者参加 272
独立当事者参加とは (273) / 詐害防止参加の要件 (273) /
権利主張参加の要件 (274) / 片面的参加 (274) /
独立当事者参加の審判形式 (275) / 手続 (276) / 訴訟からの脱退 (276)
- IV 参加承継・引受承継 277

訴訟の承継 (277) / 参加承継と引受承継 (278) /
参加・引受承継の存在意義 (278) / 承継の原因 (279) /
承継の手續 (281) / 承継後の審判 (281)

Lesson 29 上訴と再審 283

- I 概説 283
定義 (283) / 違式の裁判 (283)
- II 上訴要件、上訴の効果 284
上訴の構造 (284) / 上訴要件 (284) / 上訴提起の効果 (284) /
上訴の利益 (285)
- III 控訴 287
控訴ができる裁判 (287) / 控訴理由 (288) / 不適法な控訴 (288) /
控訴審の構造 (288) / 控訴審の終局判決 (289) / 不利益変更禁止の原則 (289)
- IV 上告 292
上告ができる裁判 (292) / 上告理由 (292) / 上告提起の手續 (294) /
上告審の審理 (294) / 上告審の判決 (295) / 破棄差戻判決の拘束力 (296)
- V 抗告 296
抗告をすることができる裁判 (296) / 抗告の種類 (296) / 許可抗告 (297) /
再度の考案による更生 (297)
- VI 再審 298
制度趣旨 (298) / 再審事由 (298) / 再審申立ての要件 (298) /
再審の構造 (299)

Lesson 30 訴訟上の相殺 300

- I 訴訟上の相殺 (事例1) 300
民法上の相殺 (300) / 訴訟上の相殺 (301)
- II 相殺の抗弁と二重起訴の禁止 (事例2) 302
問題の所在 (302) / 類推肯定説 (302) / 類推否定説 (303) / 検討 (303)

事項索引

判例索引